



アスタナ万博において

7月22日(土) JAPAN DAY 開催

～2025年博覧会の誘致に向けたPRも～

2017年6月10日(土)から9月10日(日)までの93日間、カザフスタン・アスタナ市で開催中の2017年アスタナ国際博覧会(以下、「アスタナ万博」)。会期中は、連日各参加国のナショナルデーが開催され、さまざまな催事が行われています。日本のナショナルデー「JAPAN DAY」は7月22日(土)に開催しました。

式典では、日本からは世耕 弘成 経済産業大臣が、カザフスタンからはジェニス・カシムベク 投資発展大臣が、両国を代表してスピーチを行いました。式典後は様々な文化イベントや特別展示を実施し、日本の魅力を来場者に楽しく体感していただきました。さらに、2025年の国際博覧会の誘致を目指す大阪の魅力をPRするイベントも実施しました。

【「JAPAN DAY」日本館 公式プログラム】

1. 式典(博覧会公社主催 公式行事) / 文化公演(日本伝統の和楽器アーティストによる特別公演)

□開催時間: 10:30 ~ 11:00

□場所: ナショナルデーステージ(アスタナ万博会場内)

2. 日本館 公式催事

1) 文化イベント「JAPAN TRADITIONAL MUSIC "WAGAKKI"」

□開催時間: 15:00 ~ 16:10

□場所: エナジーホール(アスタナ万博会場内)

2) 日本館スペシャル展示(同日限定)「DANCE VIEWSIC "EN"」

□開催時間: 14:30 ~ 21:30

□場所: 日本館 ZONE I、II

3) 「OSAKA 2025 PR EVENT」

①「大阪パレード」

□開催時間: 13:00 ~ 14:30

□場所: リングブルバード(会場内通路)

②「大阪ステージ」

□開催時間: 15:30 ~ 16:15

□場所: ナショナルデーステージ

(嘉門タツオ/殺陣演武)

③「大阪オールステージ」

□開催時間: 17:30 ~ 18:30

□場所: ナショナルデーステージ

4) 文化公演(特別協力団体GISPRI主催イベント)「JAPAN DAY "Future Energy" Performance Live by GISPRI」

□開催時間: 16:30 ~ 17:30

□場所: エナジーホール

日本館では、「Smart Mix with Technology ～オールジャパンの経験と挑戦～」をテーマに、エネルギー課題に対する日本の取り組みや、日本の高い技術力と世界の課題解決に貢献できる日本の姿を世界に向けて発信しています。また、2025年国際博覧会の誘致を目指す大阪のPRも行っています。

<ご案内先の記者会>

経済産業記者会、資源記者クラブ、文部科学記者会、国土交通記者会、環境省記者クラブ、貿易記者会 ※他、記者会以外のメディアにもご案内しております

<お問い合わせ先>

2017年アスタナ国際博覧会 日本館広報事務局 担当:松林・土屋・長谷川(TEL. 03-3221-1100 FAX. 03-3265-5135 MAIL. astanaexpo-japan@ozma.co.jp)

1. 式典（国際博覧会公社主催 公式行事）／ 文化公演（日本伝統の和楽器アーティストによる特別公演）

□開催時間： 10:30 ～ 11:00

□場所： ナショナルデーステージ

【式典】

ジャパンデーは、日本とカザフスタン両国の代表団が参列した公式式典とともに幕を開けました。両国の国歌演奏・国旗掲揚に続くスピーチで、カザフスタンのジェニス・カシムベク 投資発展大臣は、日本館を訪れることでエネルギー分野における日本の先導的な役割を確認できる、と述べました。

世耕 弘成 経済産業大臣からは、日本のエネルギーに関する取組を紹介するとともに、日本が2025年国際博覧会を大阪で開催するべく正式に立候補していることを紹介しました。



<ジェニス・カシムベク 投資発展大臣>



<世耕 弘成 経済産業大臣>

【文化公演】

式典後の文化公演では、津軽三味線奏者の上妻宏光さんと白藤ひかりさん、武田佳泉さんが登場し、日本の伝統音楽の1つである「津軽じょんがら節」を披露。会場内は、立ち見が出るほどの大盛況で、奏者3人が息の合った迫力のある生演奏を展開し、式典に集まった多くの観客を魅了しました。



<文化公演・津軽三味線の演奏>



<文化公演・津軽三味線の演奏>

2. 日本館 公式催事 1) 文化イベント「JAPAN TRADITIONAL MUSIC “WAGAKKI”」

□開催時間： 15:00 ～ 16:10

□場所： エナジーホール

「伝統は進化する」をテーマに、津軽三味線奏者の上妻宏光さんプロデュースによる、三味線や琴、尺八、笛などの和楽器の演奏とダンスパフォーマンスを披露しました。

上妻宏光さんや雅楽師の東儀秀樹さんをはじめとする日本人奏者による演奏に加えて、日本舞踊家の花柳寿楽さんによる伝統的な「獅子の舞」と、ダンスカンパニーDAZZLEの現代的なダンスがコラボレーションした「狐の嫁入り」を披露。さらに、カザフスタンの著名な歌手、ローザ・リムバエワさんとカザフスタンの民族楽器“ドムブラ”（日本の三味線に似た弦楽器）奏者のアスルベック・エンセポヴさんも登場し、シルクロードでつながる日本とカザフスタン、日本の伝統音楽と大陸音楽の文化交流を表現しました。

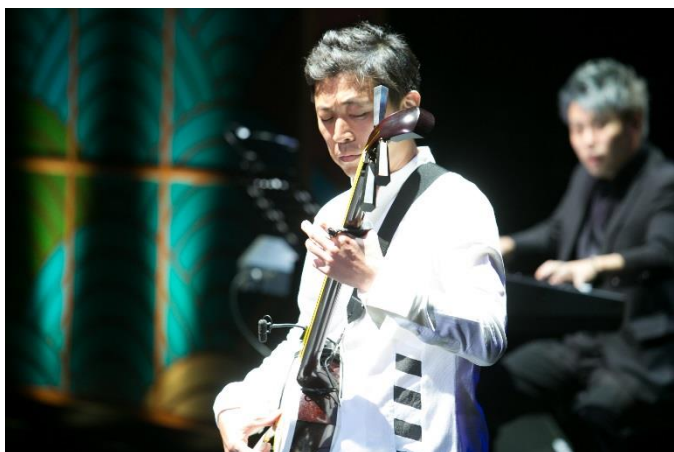
会場の3階席を埋め尽くした約700名の観客は多彩なステージに魅了され、最後はスタンディングオベーションが出るほどの大盛況に終わりました。



<ステージの様子 >



< スペシャルアドバイザー
雅楽師 東儀秀樹さん >



<本公演をプロデュースした津軽三味線奏者 上妻宏光さん >



<カザフスタンの著名な
歌手、ローザ・リムバエワさん >



<カザフスタンの伝統楽器 ドムブラ奏者
アスルベック・エンセポヴさん >

2. 日本館 公式催事 2) 日本館スペシャル展示 (JAPAN DAY限定) 「DANCE VIEWSIC “EN”」

□開催時間: 14:30 ~ 21:30

□場所: 日本館 ZONE I、II

JAPAN DAY 限定のスペシャル展示として、大阪を拠点に活躍するクリエイティブ・プロダクション「COSMIC LAB (コズミックラブ)」の企画・制作により、日本の祭りの音楽や踊りを最新のデジタル技術で紹介したパフォーマンスを上記開催時間中、日本館内で展開しました。

ZONE I では、日本各地の踊りの数々とその発展について映像で紹介しました。ZONE II では、踊り手たちによる阿波踊りや河内音頭、エイサーなどの実演と、スクリーンに映されるデジタル映像によって、リアルとバーチャルを融合したパフォーマンスを展開しました。また、デジタル映像に来館者の顔を投影する演出も行い、一体となって踊る感覚に来館者はおおいに盛り上がりました。最後には、カザフスタンの伝統舞踊「カラジョルガ」のデジタル映像を披露しました。

本展示を目的に多くの来場者が日本館に詰めかけ、来場者も一緒になって踊りに参加するなど、大盛況に終わりました。



<来場者の列>



<ZONE I 踊りの紹介>



<ZONE II スクリーンの映像と来館者との踊り>

2. 日本館 公式催事 3) 「OSAKA 2025 PR EVENT」

- ①「大阪パレード」 □開催時間： 13:00 ～ 14:30 □場所： リングブルバード（会場内通路）
- ②「大阪ステージ」 □開催時間： 15:30 ～ 16:15 □場所： ナショナルデーステージ
- ③「大阪オールステージ」 □開催時間： 17:30 ～ 18:30 □場所： ナショナルデーステージ

「OSAKA 2025 PR EVENT」では、2025年国際博覧会の誘致を目指す大阪のプロモーションの一環として、大阪の魅力を紹介しました。

①「大阪パレード」

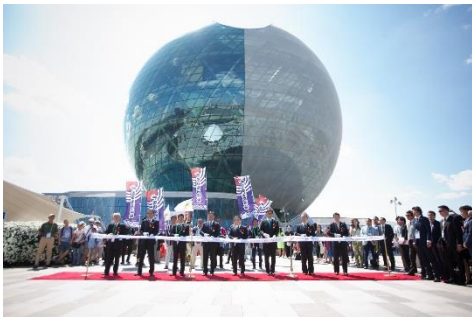
大阪をPRするため、地元大阪からの5団体約70名を含む、総勢100名以上の日本人が参加。大阪オリジナルの祭り“河内音頭”や伝統的な舞踊、殺陣を披露しながら会場内の通路を練り歩き、会場は大いに盛り上がりました。

②「大阪ステージ」

日本館サポーターで大阪出身のシンガーソングライター・嘉門タツオさんが登場し、オリジナルソングを披露。カザフ語で披露した歌やトークでは会場から拍手が沸き起こりました。続いて、若手殺陣集団 助太刀屋十八番から刀剣の達人4名が登場し、素早い立ち廻りで殺陣演武を繰り広げ、訪れた観客を魅了しました。

③「大阪オールステージ」

大阪パレードや大阪ステージで披露した歌や祭り、舞踊、殺陣などの大阪カルチャーを集大成し、大阪のパワーあふれる盛大なステージが披露されました。



<大阪パレード テープカット>



<大阪パレード 行進>



<大阪ステージ 嘉門タツオさん>



<大阪ステージ 助太刀屋十八番>



<大阪オールステージ
大阪府立今宮高等学校ダンス部卒業生 >



<大阪オールステージ 出演者たち>

2. 日本館 公式催事 4) 文化公演 (特別協力団体GISPRI主催イベント)

「JAPAN DAY “Future Energy” Performance Live by GISPRI」

□開催時間: 16:30 ~ 17:30

□場所: エナジーホール

一般財団法人地球産業文化研究所(GISPRI)主催イベント「JAPAN DAY “Future Energy” Performance Live by GISPRI」では、2005年愛・地球博公式マスコットキャラクターのモリゾーとキッコロがナビゲーターとして登場し、各プログラムを通じて、日本の「技」と「文化」の共演と、日本からカザフスタンへの愛・地球博の理念継承を行いました。

・サンドアートパフォーマンス

サンドアートパフォーマーの日本のSILT(船本恵太&あんじい)さんとカザフスタンのアイジャン・ジャルケシヨワさんが共演。サンドアートを通して、万博のレガシー、愛・地球博の理念「自然の叡智」を伝えました。

・日本橋 明治座「SAKURA -JAPAN IN THE BOX-」

東京一長い歴史を持つ劇場“明治座”が主宰する「SAKURA」が日本舞踊や和楽器などの伝統芸能にポップカルチャーを組み合わせ、日本の美しさ、強さ、四季の移ろいを表現したパフォーマンスを披露し観客を魅了しました。

・「ジャパンチャンピオン」

世界の舞台で活躍するフリースタイルフットボーラー 徳田耕太郎さんとBMXライダー 佐々木元さんによるパフォーマンスショーでは、それぞれが難易度の高い華麗な技を次々と成功させてみせ、会場は大いに盛り上がりました。

・Elevenplay × Rhizomatiks Research 「24 drones」

リオオリンピック閉会式の引継式演出振付を担当したMIKIKOさん率いるElevenplay(イレブンプレイ)と、真鍋大度さん率いるRhizomatiks(ライゾマティクス)によるコラボレーション。会場を埋め尽くした多数の来場者からは、ドローンとダンスが融合した幻想的な近未来パフォーマンスに感嘆する声が聞かれました。



サンドアートパフォーマンス
船本恵太・あんじい&アイジャン・ジャルケシヨワ



明治座
SAKURA -JAPAN IN THE BOX-



ジャパンチャンピオン
徳田耕太郎&佐々木元



Elevenplay × Rhizomatiks Research
「24drones」



グランドフィナーレ

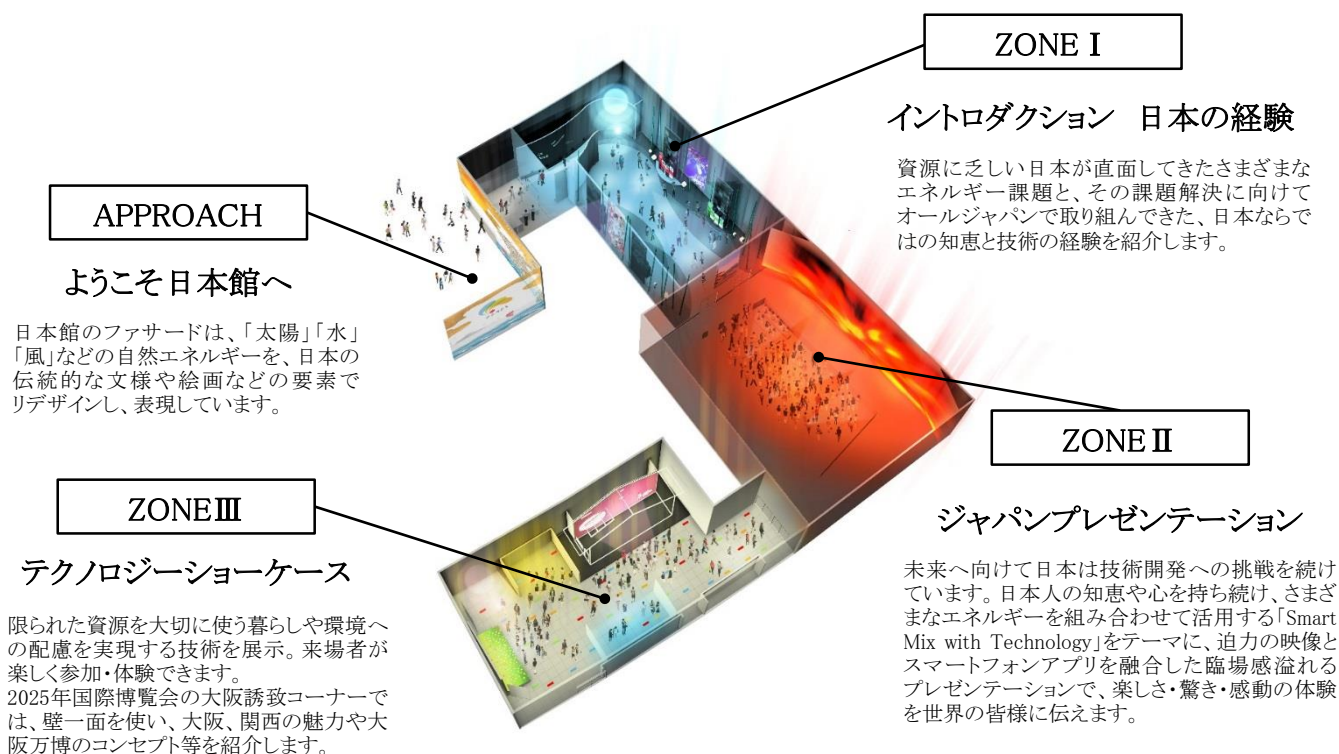
【日本館出展テーマ】

Smart Mix with Technology ～ オールジャパンの経験と挑戦 ～

【日本館展示】

日本館内の展示は、①ZONE I、②ZONE II、③ZONE IIIの3つのゾーンで構成されます。

日本の省エネやエネルギーミックスへの取り組み、LED・藻類バイオマス・水素等の最先端技術、またその背景にある日本の文化や精神性等を、驚き、楽しさあふれる体験や体感を通じて伝え、日本への強い関心と共感の獲得を目指します。



アスタナ国際博覧会に関する情報は、下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://expo2017astana.com>

日本館に関する情報は、下記の公式ウェブサイトをご参照ください。

<http://expo2017-astana.go.jp/>